

こんにちは!

村立東海病院



慢性腎臓病(CKD)について知ろう!

皆さんは、「慢性腎臓病」をご存じですか。国内で約1,330万人が発症していると推計され、成人の約8人に1人が慢性腎臓病といわれています。今回は、「新たな国民病」ともいわれる慢性腎臓病についてご紹介します。



慢性腎臓病(CKD)とは?

慢性腎臓病は腎機能の低下が持続する疾患です。特に高齢者の有病率が高く、自覚症状が出にくい疾患であるため、発見が遅れてしまうのが問題点です。治療のためには、生活習慣の改善、食事療法、薬物治療による血圧管理、血糖管理、脂質管理、貧血改善などが必要となります。



慢性腎臓病になるとどうなるの?

慢性腎臓病を発症すると心筋梗塞、脳卒中、心不全などによる死亡リスクが上昇します。腎臓病が一定の程度まで進行すると、元の正常な状態に回復させることは難しくなります。さらに慢性腎臓病が悪化すると、末期の腎不全に至り、透析や腎移植が必要となります。国内の慢性透析患者数は、2016年時点で約33万人いるといわれ、その数は年々増加しており、医療経済において大きな問題となっています。

さまざまな病気の原因に…



【心筋梗塞】



【脳卒中】

透析が必要になることも…



薬を服用する際には注意が必要です!

慢性腎臓病で腎機能が低下していると、薬物の排泄^{はいせつ}ができず体内に蓄積してしまうため、薬物の効果増強や薬剤性副作用のリスク上昇の恐れがあります。そのため、薬物の特性や患者さんの腎機能の状態に合わせて薬物の減量や投与間隔の延長を行うことが大切です。注意が必要な薬物が数多くあるため、薬について分からないことがあるときは、遠慮せずに薬剤師へご相談ください。



慢性腎臓病を早く見つけるために…

尿検査や血液検査が含まれる健康診断を定期的^{ていじてき}に受診することが、慢性腎臓病の早期発見につながります。特に尿タンパクが陽性と診断された方は注意が必要となりますので、病院で詳しい検査を受けるようにしましょう。

村立東海病院 薬剤師 菅原 一祥

【問い合わせ】村立東海病院(☎282-2188)、地域福祉課地域医療推進担当(☎287-0848)